

学ぶ力の育成

学校での学びの質を高め、家庭と一体となって「学ぶ力」を育むことを目指して、**さっぽろっ子「学ぶ力」の育成プラン**を推進します。

「自ら課題を見付け、自ら学び、自ら問題を解決する資質や能力等」の「学ぶ力」を育成するため、「学ぶ意欲(主体的に学習に取り組む態度)」「学んだ力(基礎的・基本的な知識及び技能)」「活かす力(思考力・判断力・表現力等)」の学力の3要素をバランスよく育む教育の充実を目指します。

札幌市の教育で目指す「学ぶ力」

「学ぶ力」を支える3つの力



分かる・できる・楽しい授業づくりの充実

- 各学校が、自校の子どもの状況を踏まえて、「学ぶ力」の課題を明確化し、重点的に改善します。
- 分かる・できる・楽しい授業の実現に向けて、「学ぶ力」の育成に向けた5つのポイント(P8参照)を活用するとともに、個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を図りながら、「課題探究的な学習」(P9参照)を推進します。

■「子どもが自ら考え、判断し、表現する学習活動」の充実

- ・自ら疑問や課題をもち、主体的に解決する「課題探究的な学習」を取り入れた授業の工夫を行います。

■「自分への自信につながるきめ細かな指導」の充実

- ・基礎的・基本的な知識及び技能の定着を図り、子どもが分かる・できる喜びを実感できるよう、個に応じた指導の充実を図ります。

学ぶ意欲の向上

- ・知識の理解の質を高め、資質・能力を育む「主体的・対話的で深い学び」の実現に向け、言語活動や体験的な活動等の充実を図るとともに、**1人1台端末等のICTを活用した学習の充実**を図ります。(P10参照)

包括的重点における「学ぶ力」の育成(P5参照)

- 系統性・連続性のある「課題探究的な学習」の充実を図ります。
- ICTの効果的な活用による「課題探究的な学習」の充実を図ります。
- 家庭や地域へ「学ぶ力」の育成に向けた情報発信の充実を図ります。

学校段階等間の接続及び発達段階に応じて、目標や指導内容を明確にすることで、学びの

幼稚園段階

- 子どもの自発的な活動としての遊びの中で、好奇心や探究心、思考力の芽生えを育むために、
 - ・身近な事象や周囲の環境と直接的に関わる場や時間を保障すること
 - ・子どもの興味や関心に基づいて繰り返し取り組む過程や必要感に基づく体験を大切にすること
 - ・友達の考えに触れ、新たな考えを生み出す楽しさを味わう機会をつくること
- などを大切にしながら、遊びや活動の充実を図ります。



共通の目的の実現に向かって、友達と試行錯誤する子ども

幼児期の教育を通じて身に付けたことを生かしながら教科等の学びにつなぐ

小学校段階

- 子ども一人一人が、
 - ・学ぶことの意義や楽しさを感じ取り、自ら学び続けようとする意欲を高めること
 - ・自ら考えたり表現したりするなどの多様な学びを経験して、思考力、判断力、表現力等を身に付けること
- 入学当初においては、幼稚園段階で育まれてきたことが、各教科等の学びに円滑に接続されるよう、各学校においてスタートカリキュラムを編成し、指導の工夫を行います。
- 学校の実情等に応じて、高学年を中心に、年間を通じた専科指導を計画的に行うことで、中学校における学習への円滑な接続を図ります。